

修得目標 理学療法学科

		学科の修得目標		全学の修得目標	4要素
レベル1		レベル2			
A	文化、社会、自然に対する幅広い関心と医療人として高い倫理観を持ち、他者を尊重したコミュニケーションによって信頼関係を築くことができる	1	文化、社会、自然に対する幅広い関心を有し、医療人としての倫理観について説明できる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
		2	他者を取り巻く個人的、社会的状況を踏まえて、コミュニケーションを図ることができる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
		3	日本と海外の理学療法を比較できる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
		4	日本と海外の理学療法の違いについてディスカッションすることができる	海外との交流を積極的に行う姿勢を有する	態度・志向性
B	理学療法士として必要な基礎的知識を有している	5	人体の構造と機能および心身の発達について説明できる		知識・理解
		6	疾病と障害の成り立ちや回復過程について説明できる		知識・理解
		7	保健・医療・福祉に関する基本的な仕組みについて説明できる		知識・理解
		8	理学療法士の役割や業務、理学療法研究プロセスについて説明できる		知識・理解
C	理学療法の評価から治療に至る一連のプロセスに必要な認知スキルを有している	9	カルテや問診により、医学的、社会的情報を収集できる		知識・理解
		10	カルテや問診により収集した医学的、社会的情報から検査項目を想起できる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
		11	選択した検査項目の理由を説明できる		知識・理解
		12	情報収集をもとに、患者の問題点を抽出し、その理由を説明できる		知識・理解
		13	治療目標を設定し、その理由を説明できる		知識・理解
		14	理学療法の治療プログラムを立案できる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
		15	立案した治療プログラムの理由を説明できる		知識・理解
		16	主体的な地域生活に導くための理学療法士としての方法や技術を説明できる		知識・理解
D	理学療法の評価に必要な基本的運動スキルについて、実践的基礎的能力を備えている	17	バイタルチェックや転倒防止策などリスク管理を実践できる		知識・理解
		18	基本的運動スキルを用いて、関節可動域や筋力、姿勢・動作分析などの一般的理学療法評価を実践できる		知識・理解
		19	基本的運動スキルを用いて、運動器障害に対する特異的理学療法評価を実践できる		知識・理解
		20	基本的運動スキルを用いて、中枢神経障害に対する特異的理学療法評価を実践できる		知識・理解
		21	基本的運動スキルを用いて、内部障害に対する特異的理学療法評価を実践できる		知識・理解
E	理学療法の治療に必要な基本的運動スキルについて、実践的基礎的能力を備えている	22	基本的運動スキルを用いて、運動器障害に対する治療を実践できる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
		23	基本的運動スキルを用いて、中枢神経障害に対する治療を実践できる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
		24	基本的運動スキルを用いて、内部障害に対する治療を実践できる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
F	社会規範やルールを守り、自己研鑽に努め、理学療法士としての使命や責任を果たそうとする態度を有している	25	臨床実習に関わる社会スキルを守ることができる	実社会の出来事について自ら学び、吸収することができる	汎用的技能
		26	理学療法の評価から治療に至る一連のプロセスを遂行するために自ら課題を設定し、自己学習できる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
		27	理学療法における運動スキルと認知スキルについて、見学、協同参加から監視レベルへの向上を図ることができる	自分の得意分野を見つけ、個性として昇華させることができる	態度・志向性
		28	グループ学習における役割を果たすため、任された課題を遂行し、学修成果をグループ内で共有できる	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる	態度・志向性
		29	臨床実習内容を記録し、自己の考えや行動を振り返ること（内省）ができる	修得した知識・技術で自分の力として行動し、その結果に責任を持つ	態度・志向性
G	チーム医療における理学療法士の役割に基づいて、多職種と協調して連携を図る態度を有している	30	チーム医療における理学療法士の役割を発信できる	常に情報を収集し、それらを基に自分なりの考えを発信できる	汎用的技能
		31	チーム医療の一員としてディスカッションすることができる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性

科目区分	科目名	必修・選択等区分	配当年次	【理学療法学科2020～2021年度入学生】ディプロマ・ポリシー				
				1 医療を担うための基礎となる教養を有している。	2 理学療法士として必要な基礎的および専門的知識を有している。	3 理学療法の評価から治療に至る一連のプロセスに必要な基本的運動技能、認知技能および社会技能を有し、実践的基礎的能力を備えている。	4 社会規範やルールに従って行動でき、能動的に学修する意欲を持ち、理学療法士としての使命や責任を果たそうとする態度を有している。	5 他者と協調して行動でき、チーム医療における理学療法士の役割に基づいて、多職種連携を図る態度を有している。
教養分野	文章表現法	必修	1年	○				
	医療コミュニケーション学	必修	1年	○				
	医療倫理学	必修	1年	○				
	心理学	選択	1年	○				
	職業教育	必修	1年	○				
	生涯教育	必修	1年	○				
	日本国憲法	選択	1年	○				
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○				
	経済のしくみ	選択	1年	○				
	環境科学	選択	1年	○				
	生物学	選択	1年	○				
	医療統計学	必修	1年	○				
	英語I	必修	1年	○				
	英語II	必修	1年	○				
	医用英語	選択	3年	○				
	韓国語と文化理解	選択	1年	○				
	中国語と文化理解	選択	1年	○				
	国際事情	自由	1年	○				
医療情報処理演習I	必修	1年	○					
医療情報処理演習II	必修	1年	○					
専門基礎分野	解剖学I	必修	1年		○			
	解剖学II	必修	1年		○			
	解剖学III	必修	1年		○			
	解剖学実習	必修	1年		○			
	生理学I	必修	1年		○			
	生理学II	必修	1年		○			
	生理学III	必修	1年		○			
	基礎運動学	必修	1年		○			
	臨床運動学	必修	1年		○			
	人間発達学	必修	2年		○			
	臨床心理学	必修	1年		○			
	病理学	必修	2年		○			
	整形外科学	必修	2年		○			
	神経内科学	必修	2年		○			
	精神医学	必修	2年		○			
	内科学	必修	2年		○			
	小児科学	必修	2年		○			
	加齢と健康	必修	2年		○			
	川口リハビリと薬	必修	2年		○			
	病気の診断と検査	必修	3年		○			
	AI&ITの活用概論	必修	1年		○			
	川口リハビリ概論	必修	1年		○			
	保健医療福祉概論	必修	1年		○			
	チーム医療	必修	3年		○			○
理学療法学入門セミナー	必修	1年		○			○	
理学療法管理学	必修	1年		○				
基礎理学療法学演習I	必修	1年		○			○	
基礎理学療法学演習II	必修	2年		○			○	
基礎理学療法学演習III	必修	3年		○			○	
基礎理学療法学実習	選択	3年			○			
理学療法研究法	必修	2年		○				
理学療法学総合演習	必修	4年		○			○	
理学療法評価学概論	必修	1年		○				
理学療法評価学演習I	必修	1年		○			○	
理学療法評価学演習II	必修	2年		○			○	
運動器系理学療法評価学	必修	2年		○				
運動器系理学療法評価学演習	必修	2年		○				
神経系理学療法評価学	必修	2年		○				
神経系理学療法評価学演習	必修	2年		○			○	
呼吸循環代謝系理学療法学I	必修	2年		○				
発達系理学療法評価学	必修	2年		○				
画像評価学	必修	3年		○				
運動療法概論	必修	2年		○				
運動器系理学療法治療学	必修	2年		○				
運動器系理学療法治療学演習	必修	3年		○			○	
上肢運動器系理学療法治療学	選択	4年		○			○	
下肢運動器系理学療法治療学	選択	4年		○				
体幹運動器系理学療法治療学	選択	4年		○				
神経系理学療法治療学I	必修	2年		○				
神経系理学療法治療学II	必修	3年		○				
神経系理学療法治療学演習	必修	3年		○				
中枢神経系理学療法治療学	選択	4年		○				
呼吸循環代謝系理学療法学II	必修	2年		○				
呼吸循環代謝系理学療法学演習I	必修	2年		○				
呼吸循環代謝系理学療法学演習II	必修	3年		○				
呼吸循環代謝系理学療法学特論	選択	4年		○				
発達系理学療法治療学	必修	3年		○				
発達系理学療法学演習	選択	3年		○				
物理療法学	必修	2年		○				
物理療法学実習	必修	2年		○			○	
動作解析学	必修	3年		○			○	
日常生活支援学	必修	2年		○				
日常生活支援学実習	必修	2年		○			○	
義肢装具学	必修	2年		○				
理学療法治療学特論	選択	3年		○				
生活環境論	必修	2年		○				
地域理学療法学	必修	3年		○				
AI・IT理学療法学	選択	3年		○				
臨床技能演習	必修	3年		○			○	
臨床実習I	必修	2年		○			○	
臨床実習II	必修	3年		○			○	
地域理学療法見学実習	必修	3年		○			○	
臨床実習III	必修	4年		○			○	
卒業研究	選択	4年		○				

科目区分	科目名	必修・ 選択等 区分	配当 年次	【理学療法学科2019年度入学生】ディプロマ・ポリシー		
				1 理学療法に関し、評価から治療に至る一連のプロセスを正しく理解し、科学的根拠に基づいた効果的で安全な基本的治療を実施できる。	2 理学療法に関する専門的知識、技能を活用して、疾病や障害の予防、健康増進等の方策を述べることができる。	
基礎分野	文章表現法	必修	1年	○		
	医療コミュニケーション学	必修	1年	○	○	
	医療倫理学	必修	1年	○	○	
	心理学	選択	1年	○	○	
	日本国憲法	選択	1年	○		
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○	○	
	経済のしくみ	選択	1年	○		
	環境科学	選択	1年	○	○	
	生物学	必修	1年	○	○	
	医療統計学	必修	1年	○	○	
	プーレストリカチク概論	選択	1年	○	○	
	英語I	必修	1年	○		
	英語II	必修	1年	○		
	医用英語	選択	3年	○		
	韓国語と文化理解	選択	1年	○		
	中国語と文化理解	選択	1年	○		
国際事情	自由	1年	○			
医療情報処理演習I	必修	1年	○	○		
医療情報処理演習II	必修	1年	○	○		
専門基礎分野	解剖学I	必修	1年	○	○	
	解剖学II	必修	1年	○	○	
	解剖学実習	必修	1年	○	○	
	生理学I	必修	1年	○	○	
	生理学II	必修	1年	○	○	
	生理学III	必修	1年	○	○	
	基礎運動学	必修	1年	○	○	
	臨床運動学	必修	1年	○	○	
	人間発達学	必修	2年	○	○	
	臨床心理学	必修	1年	○	○	
	病理学	必修	2年	○	○	
	整形外科	必修	2年	○	○	
	神経内科学	必修	2年	○	○	
	精神医学	必修	2年	○	○	
	内科学	必修	2年	○	○	
	小児科学	必修	2年	○	○	
	老年医学	必修	2年	○	○	
	リハビリテーション医学	必修	2年	○	○	
	病気の診断と検査	必修	3年	○	○	
	リハビリテーション概論	必修	1年	○	○	
	保健医療福祉概論	必修	1年	○	○	
	専門分野	理学療法学入門セミナー	必修	1年	○	○
		理学療法管理学	必修	1年	○	○
基礎理学療法学演習I		必修	1年	○	○	
基礎理学療法学演習II		必修	2年	○	○	
基礎理学療法学演習III		必修	3年	○	○	
基礎理学療法学実習		選択	3年	○	○	
理学療法研究法		必修	3年	○	○	
理学療法学総合演習		必修	4年	○	○	
理学療法評価学概論		必修	1年	○	○	
理学療法評価学		必修	1年	○	○	
理学療法評価学実習		必修	2年	○	○	
運動器系理学療法評価学		必修	2年	○	○	
運動器系理学療法評価学演習		必修	2年	○	○	
神経系理学療法評価学		必修	2年	○	○	
神経系理学療法評価学演習		必修	2年	○	○	
呼吸循環代謝系理学療法評価学		必修	2年	○	○	
呼吸循環代謝系理学療法評価学演習		必修	2年	○	○	
発達系理学療法評価学		必修	2年	○	○	
運動療法概論		必修	2年	○	○	
運動器系理学療法治療学		必修	2年	○	○	
運動器系理学療法治療学演習		必修	3年	○	○	
上肢運動器系理学療法治療学		選択	4年	○	○	
下肢運動器系理学療法治療学		選択	4年	○	○	
体幹運動器系理学療法治療学		選択	4年	○	○	
神経系理学療法治療学I		必修	2年	○	○	
神経系理学療法治療学II		必修	3年	○	○	
神経系理学療法治療学演習		必修	3年	○	○	
中枢神経系理学療法治療学		選択	4年	○	○	
呼吸循環代謝系理学療法治療学		必修	3年	○	○	
呼吸循環代謝系理学療法治療学演習		必修	3年	○	○	
発達系理学療法治療学		必修	3年	○	○	
発達系理学療法治療学演習		選択	3年	○	○	
老年理学療法治療学		必修	3年	○	○	
物理療法学		必修	2年	○	○	
動作解析学		必修	3年	○	○	
日常生活支援学		必修	2年	○	○	
義肢装具学		必修	3年	○	○	
理学療法治療学特論		選択	4年	○	○	
生活環境論		必修	2年	○	○	
地域理学療法学		必修	3年	○	○	
在宅理学療法学		選択	4年	○	○	
在宅医療		必修	3年	○	○	
臨床実習I		必修	2年	○	○	
臨床実習II	必修	3年	○	○		
臨床実習III	必修	4年	○	○		
卒業研究	選択	4年	○	○		